



World Journey

ワールド・ジャーニー vol.6 国際関係学編(フィンランド)



違いを知り、理解し合うことから、すべてが始まる。



Let's know the difference and understand each other! Everything starts from here.

体験からしか学べない

国際言語としての英語の力も身に付いた。

杉本 ヨーロッパ諸国を中心に世界中から学生が集まるフィンランドへ1年間留学し、国際関係学の基礎を培いたい。それが今回のフィンランドへの交換留学の目標でした。

河原地 最初は言葉の壁も感じたようだったね。

杉本 1年次に参加した留学プログラム「海外フィールド・リサーチ」でのアメリカ体験から英語には少し自信がありました。でも、世界中から集まる留学生たちにとって、英語は母国語ではありません。留学生たちの英語力はまちまちで、なまりもあり、アメリカで聞いた英語とは大違いです。すぐに、難しい文法や表現は避けてシンプルにわかりやすく話すように頭を切り替えると会話

が成立し、そうなると話すことが楽しくて、なまりにも慣れていくことができました。「国際言語としての英語とは、こういうことなんだ」と実感しましたね。また、フィンランド語も留学中ずっと履修し続けて、日常生活には困らない程度になりました。

河原地 英語以外の言語を学ぶと、英語も、より学びやすくなる感じませんか？

杉本 フィンランド語の授業を受けているとちょっと聴き取れなくて、周囲の友人と「今何て

言ったの」とか、英語で情報交換するんです。そんなとき、まるで英語が母国語のような気分になりましたね。

各国の留学生たちと国際問題を語り合い、国際関係学のおもしろさに開眼。

河原地 様々な国際問題について各国の留学生たちと友人として議論できたのも、すばらかったね。

杉本 国際問題の一つひとつに、国、文化、宗教などバックグラウンドの違いによる多様な捉え方があることを知りました。

河原地 毎月レポートを読ませてもらい、積極的に行動して大きく成長しているのを頼もしく感じていました。時には私に意見をたずねてくることもあり、私も勉強になりました。

杉本 ウクライナ問題などは、ウクライナ人とロシア人

の友人とで主張が違います。そうした問題について意見を求められたときは、インターネットなどで事実を調べ、様々な見方をふまえたうえで自分なりの考えをまとめ、友人たちに伝えました。ロシアを専門とされる河原地先生に意見をいただいたことも参考になりました。

河原地 現実問題として、各国それぞれの文化や価値観を尊重し合いながら関係を築いていかなければ紛争はなくなりません。それを感覚的に学ぶには、フィンランドのような世界各国から学生が集まる地への留学が近道だと改めて感じますね。

杉本 確かに、違いを知るということでの収穫は大きかったです。帰国前に広くヨーロッパを見てきましたが、陸続きなのに、国境を越えると言葉も食べ物も物価も何もかもが違う。この違いを認め合い、互いに理解し合うことからすべてが始まるのだと思います。自分

にとって、違いを知り理解することがとても楽しいプロセスであることに気付いたのも収穫でした。フィンランドは女性の社会進出が進んでいて、子育て支援など社会福祉制度も充実しています。今後、国際関係学の知識を深めていくにあたって、女性の社会的地位や社会福祉の格差の問題を研究テーマにしてみようかなという思いもあります。留学は今後の学びにも大きく活きそうです。



国際関係学科 教授
河原地 英武



国際関係学科3年
杉本 友樹さん

国際人として、日本の強みをもっともっと世界にアピールしていける力をつけたいですね。

国際関係学は、複眼的な物の見方を身に付けて、グローバルに活躍するベースを養う学問です。

Lifestyle in Finland | フィンランドでの留学生活

Giving each other meals, the students got to know the different food cultures of the world better.

留学生同士で料理をふるまい合い、食文化の交流も深めました!

フィンランドの国民食といえばカリヤランピーラッカ。牛乳粥を包んだパイで、卵とバターを混ぜたエッグバターをつけて食べます。現地の人々は大好きだけど、僕は正直、ちょっと苦手でした。キッチンシェアしていたイタリア人留学生がふるまってくれるパスタ料理が一番でした。



I learned the wonderfulness of nature. I will never forget the amazing aurora.

すばらしかった大自然。オーロラは、一生忘れません。

森と湖の国、フィンランドの美しさは想像以上でした。特にすばらしかったのは夏の夕暮れ。学生アパートの近くにも湖があり、よく散歩に出かけました。また、ラップランド行きのツアーでは、現地の人々が驚くぐらい天候に恵まれ、連日見事なオーロラを堪能しました。

